

応急組立橋（トラスガーダ形式）

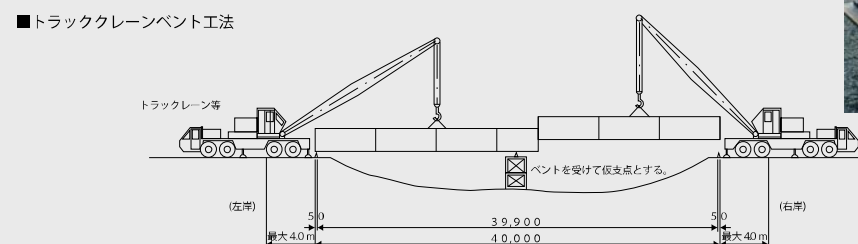
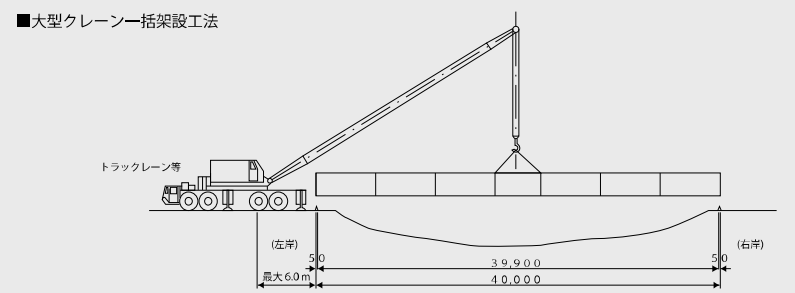
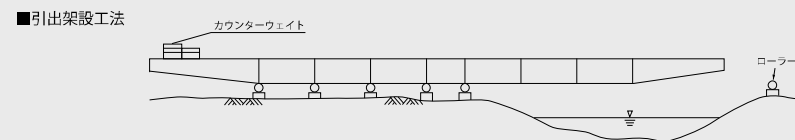
設営場所の条件により、施工計画が必要です。

機械の機能

河川の増水、地震、土砂崩等の災害で橋梁が使用できなくなった場合に、早期に交通路を確保するための仮橋として使用します。

全ての部材が10~11 tトラックに積載できるので、トラックが通行可能であればどこにでも運搬できます。

最小橋長10mから最大50m（最大支間長40m）まで2m又は4m毎に橋の長さを変えることができるので、現場条件に応じて設置することができます。



現地設営条件

- ◎ 架設現場まで部材の輸送が必要です。
- ◎ 架設現場には部材の仮置ヤードが必要です。
- ◎ 仮置ヤードへの進入路は、10~11 tトラックが進入できるように整地が必要です。
- ◎ 架設を行うためには、橋台や橋脚及び付近の整備が必要です。

機械の諸元

主要諸元		
形式	組立式トラスガーダ橋	最大部材寸法 長さ6m×幅0.5m×高さ1.5m 長さ6m×幅0.7m×高さ1.5m [歩道付]
支間長	標準40m（最大50m） 取付部：6×2スパン×上下 全長64m	重量（主桁） 1.7 t 3 t [歩道付]
	[歩道付] 標準40m（最大50m） 取付部：8×2スパン×上下 全長72m	道路規格 第3種 第5級相当
	※支間長40m以内に橋台を設置し、予備桁を使用することで最大50mまで架設が可能	幅員構成 車道：6m 歩道：なし 車道：6m 歩道：0.8m [歩道付]
	最小10mから最大50mまで架設可能 ※40mを超える場合は橋台が必要	設計荷重 T=20 L=40 T=20 L=20（歩道付）
	10m 4m 12m 6m 14m 16m 8m 18m 20m 22m 24m 26m 28m 30m 32m 34m 36m 38m 40m 44m 46m 50m	許容たわみ度 L/400以下
		許容応力度 道路橋示方書の30%増し
		架設工法 トラッククレーンによる架設工法及びウィンチによる引き出し工法
		最短組立期間 クレーンによる一括架設工法 : 約76時間 クレーンによるペント架設工法 : 約88時間 ウィンチによる引き出し架設工法 : 約96時間
		※支間長40m [歩道付] クレーンによる一括架設工法 : 約34時間 クレーンによるペント架設工法 : 約42時間 ウィンチによる引き出し架設工法 : 約40時間

外形図

